

公の施設目標管理型評価書（新潟市北区文化会館）

施設名	新潟市北区文化会館		
管理者名	NKS・ハビスカとよさか・コンベンションリンケージ共同事業体	指定期間	平成27年4月1日 ～ 令和2年3月31日
担当課	北区産業振興課		
所在地	新潟市北区東栄町1丁目1番5号		
根拠法令	—		
設置条例	新潟市北区文化会館条例		
施設概要	建築年 平成22年 敷地面積 24,520平方メートル 建築面積 4,427平方メートル 延床面積 4,708平方メートル 鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造・鉄筋コンクリート造）2階建 ホール（収容人員549人。ほか身障者スペース8席）、練習室4、楽屋3、保育室、会議室 他敷地内施設 駐車場（314台）、園路、広場、植樹帯など		

施設設置目的
音楽、演劇等の鑑賞又は創作活動の機会を提供し、もって市民の芸術文化活動の発展に資するため、新潟市北区文化会館を設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>(1) 文化事業 「市民の芸術文化活動の発展」という設置目的を果たすため、常に新鮮でかつ安定した文化事業の運営に努める。 【重点事項】 ・優れた音楽、演劇等の舞台芸術の鑑賞機会の提供 ・創作活動の機会の提供と参加の促進 ・地域に根ざした文化の発信 ・文化を通じたひとつづくり・まちづくりによる賑わいの創出</p> <p>(2) 施設運営 貸館に関する業務、ホール業務及び館内業務を行う。 【重点事項】 ・貸館に関する業務の円滑化を図るため、利用希望者の使用条件等を勘案し、公の施設として公平性に配慮しつつ必要に応じた調整 ・舞台機構設備、舞台照明設備、舞台音響設備等及び備品の日常点検並びに管理を行うとともに、それらの操作に精通し、利用者に対し安全で、高度なサービスを提供 ・来館者の満足度を向上するため、様々なサービスの提供</p> <p>(3) 施設管理 施設設備や舞台設備などの施設管理については、日常点検を行うなど、常に良好な状態及び性能を維持するとともに、効果的かつ効率的な管理を行う。 【重点事項】 ・施設設備等の保守管理業務 ・清掃業務等の環境維持管理業務 ・効果的かつ効率的な管理運営執行体制の確保 ・専門的職員の配置 ・適切な執務体制 ・人材育成の取組</p>

平成30年度 目標管理型評価書

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	情報発信	情報誌の発行 年6回以上	HPにて随時情報発信 毎月会館催事案内情報誌を発行配布	A	指標を大幅に上回っている。
	基準稼働率の達成	ホール・練習室等の稼働率 年間75%以上	ホール・練習室等の稼働率83%	A	目標値を上回り達成した。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで「満足」が90%以上	施設評価99% スタッフ評価99%	A	高い満足度を維持している。
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には7営業日以内に回答	関係機関と連絡を取りながら即日から7営業日以内に対応	A	24時間以内に対応、3日以内には報告をあげている。
	文化事業の実施	管理・運営に関する基本理念、方針等（1）文化事業の【重点事項】に記載の4項目に合致する指定管理文化事業を以下のとおり実施 事業数：12事業以上 事業費（支出ベース）：21,000千円以上	鑑賞型事業11事業＋創作参加型事業6事業＋交流発信型事業7事業＋普及育成型事業10事業＝合計年間34事業 事業費（支出ベース）28,238千円	A	事業数、事業費とともに、指標を大きく上回っている。
財 務	施設管理運営経費の削減	管理運営経費を年間79,800千円以下	光熱水費等、デマンド管理等を徹底し、積極的に経費の削減に努め、光熱水費の一定の削減に成功した。収支を勘案した上で、経年劣化対応修繕・修理や備品更新等に努め、市民サービス向上・安全安心に投資した結果、指標内に収める事ができた。管理運営経費79,652千円。	B	市民サービスの向上を図りつつ経費削減に努め、目標を達成した。
	適正な財政運営	収支計画に基づく収入の確保及び経費の執行	収入予算110,423千円：収入決算108,047千円 支出予算110,423千円：支出決算107,891千円 収入実績は予算額に至らなかったが、収入減額を上回る、支出の削減に努めた結果、当初計画以上の事業を実施する事ができ、かつ収支差額は黒字となった。	A	適正に経費を支出し、予算規模を増やすとともに、増収を維持している。

業 務	安全管理責任者の配置と安全確保体制の確立	常時、危機管理責任者を配置し、防災・避難訓練を年2回以上実施	危機管理責任者：田代館長 防火管理者：橋本副館長 10/3・1/31・3/29と例年以上の3回の防災避難訓練を実施。日常的な危機管理意識訓練を励行させて、消防機関と情報交換するなど、より適切な危機管理を実践している。	A	訓練のみならず、日々の業務における体制整備を積極的にやっている。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	迅速な対応と、再発防止策の策定	5/20園地歩道灯破損（当て逃げ） 7/3会館ネット回線不具合 10/5事務室内館内照明スイッチの不具合 2/17公演鑑賞中のお客様が意識不明に等、それぞれの事件・事故等に迅速に対応した。	A	適切に対応するとともに、事後の経過観察を行い再発防止に努めている。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	安全、節約等考慮しつつ、その他業務仕様書等に定める事項を遵守し、市民視点で仕様書に定められた事項以上の業務執行に心がけ実施した。	B	遵守されている。
人 材	職員研修の実施	外部・内部研修の実施 1人あたり2回以上	毎朝礼時のOJTの実施はもちろんの事、月例職員会議の実施、外部研修会への積極的な参加19回66名 職員1名あたり4.4回	A	内部での研修のほか、外部の研修会へ積極的に参加している。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守に努め、労務環境関係の充実に努めた。 また前年同様、創作の市民参加型事業等、個々の出演者との連絡調整に時間を要する事業実施に伴う、業務量増加があったが、適正な労務管理改善を図り、労働関係法令を遵守した。	B	適正に遵守されている。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

平成30年度は、市民より希望の多い鑑賞事業を実施、あわせて地産地消型を意図し次世代を担う文化創造事業を1本増やし、普及育成事業、交流発信事業なども積極的に事業展開し、年間を通じてバランスのある事業運営を実施しました。こうした4つのテーマの文化事業を通じて地域文化とまちづくりの振興に寄与するよう、職員一同、頑張ってきました。その結果、市民の皆様から「北区の会館はいろいろな面白いことを始めたね」とかの声を聞くなど、感謝と同時に責任を感じています。こうした皆様からの声を励みにして、私たちは指定管理料を無駄なく、効果的に経営し、文化事業運営に磨きをかけ、劇場法や一昨年立法化された新たな文化芸術基本法の理念を継承し、劇場・音楽堂等の目指すべき理想的な文化施設になれるよう努力し続けます。

当館では文化を通じてまちがかわり、まちがかわることで文化も成長する、そんな仕組みづくりを目指します。また文化芸術基本法が整備されたことから、劇場・音楽堂等の文化施設は新たな社会包摂活動が求められる時代となりました。こうした社会的な潮流の中で、北区文化会館はいち早く、社会包摂活動に取り組み、北区文化会館の事業はもとよりアウトリーチや病院訪問などの形態で多様な活動を始めました。

今後も、北区文化会館の各種事業実施を進め、地域活性化を図るうえで、働き方改革を取り入れた職員の労働環境の充実整備が重要課題と認識しております。

会館では今後も、市民の皆様から喜んでいただける企画制作に心がけ、北区文化会館の最適な運営と管理を行い、高品位の市民サービス向上、経費の節減かつ事業効果を最大限発揮できるよう、マネジメントをまいります。本年度は、文化事業部門28,290千円規模の文化事業を実施でき、毎年、会館総収支決算も小幅な黒字を計上することができました。

結びに、文化創造と未来に活力あるまちは北区文化会館だけではつくりえない。しかし、北区文化会館が拠点となり文化事業や市民視点の管理運営の展開を始めるところから文化と未来の活力あるまちがつけられると考えます。今後も、新潟市の目指す方向をよくお聞きしながら、多くの方々のご支援とご協力に感謝し、常に市民視点で検証し、未来ある市民のための地域文化芸術の継承と発展に尽くします。

総合評価(所見)

- ・市民・財務・業務・人材の視点に関して、総じて目標を大きく上回っている。
- ・特に文化事業に関しては、年間を通して多くの事業を手掛けながらも、市民と協働し独創的かつ優れた事業を行い、創意工夫を重ね発展させている。
- ・新潟市の他の部局とも積極的に連携し、会館業務以外にも活躍の場を広げ、常に新鮮でかつ安定した文化事業の運営を行っている。
- ・会館運営に関しても、改正された法律を的確に把握し、一歩進んだビジョンを持ち運営に取り組んでおり、今後も、変化する市民のニーズや社会情勢を適切にとらえ、さらなる芸術文化活動の発展に貢献していただきたい。